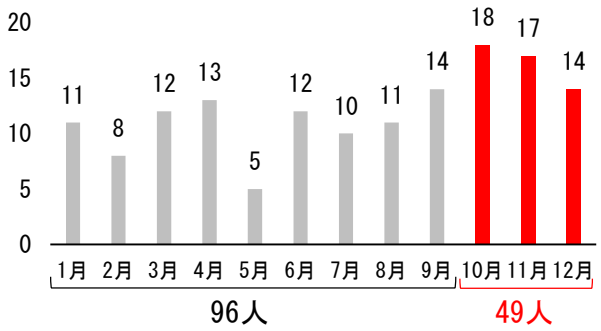
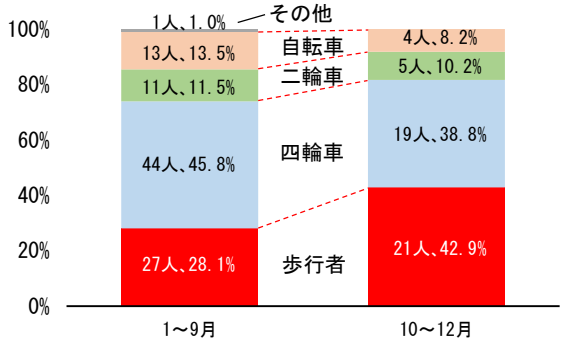
10月～12月の交通死亡事故の特徴（R1～R5）

01 10月～12月は交通死亡事故が増加

月別・交通事故死者数（145人）



状態別・交通事故死者の割合（10～12月）



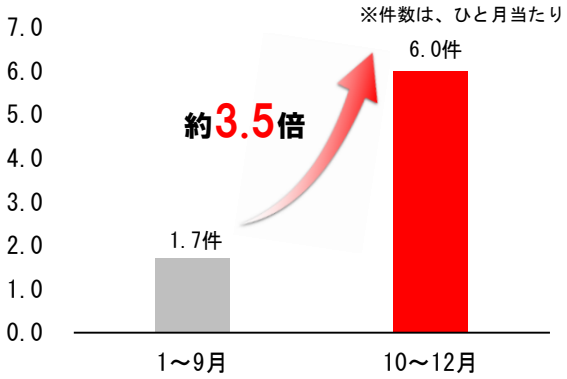
過去５年間では10月、11月、12月の順で多い

１～９月の１か月平均死者数＝10.7人
10～12月の１か月平均死者数＝16.3人
約1.5倍

10～12月は、
死者に占める**歩行者の割合が増加**
（28.1% ⇒ 42.9%）

02 薄暮時・夜間の歩行者の死亡事故が増加

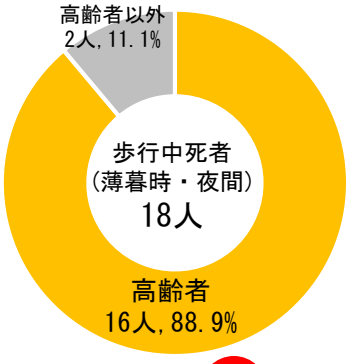
薄暮時・夜間における歩行者死亡事故件数



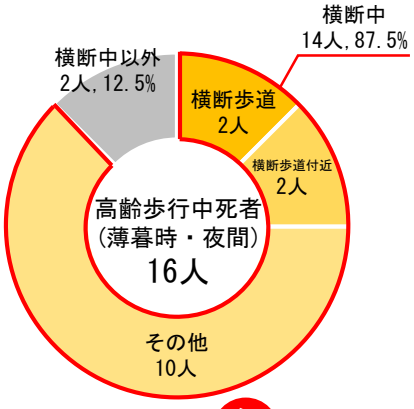
10～12月の薄暮時・夜間は、1～9月に比べ、歩行者の死亡事故が増加します。
この時間帯は、周囲の視界が悪くなり、自動車や自転車、歩行者などの発見がお互いに遅れたり、距離や速度が分かりにくくなるためです。
※薄暮時とは、日の入り時刻の前後１時間をいいます。

薄暮時・夜間は特に注意！

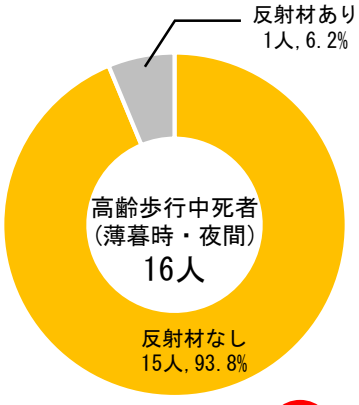
03 薄暮時・夜間の歩行中死者は横断中の高齢者が多い



高齢者 多



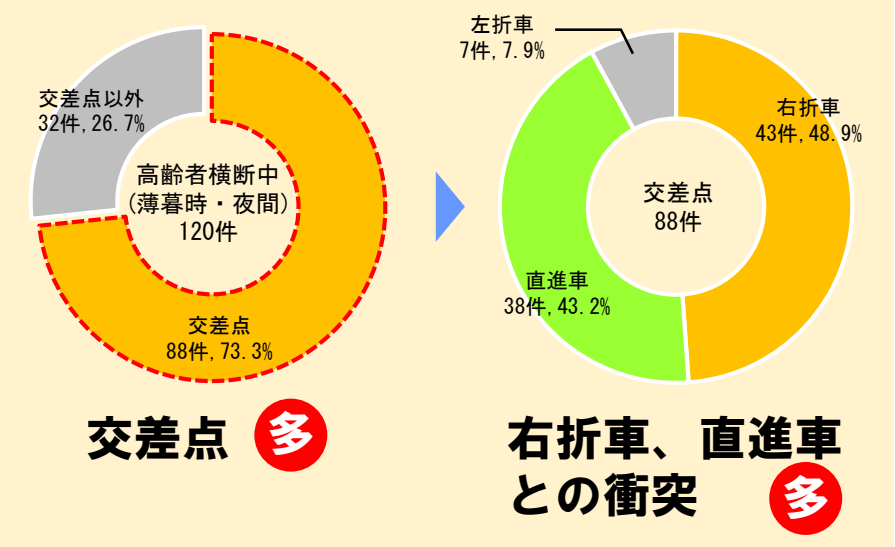
横断中 多



反射材非着用 多

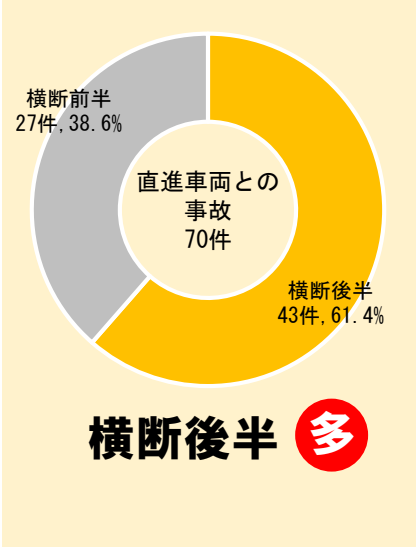
《キーワード》
薄暮時・夜間　高齢歩行者　横断中

薄暮時・夜間の高齢歩行者横断中の人身事故（R1～R5）
～120件122人の特徴～

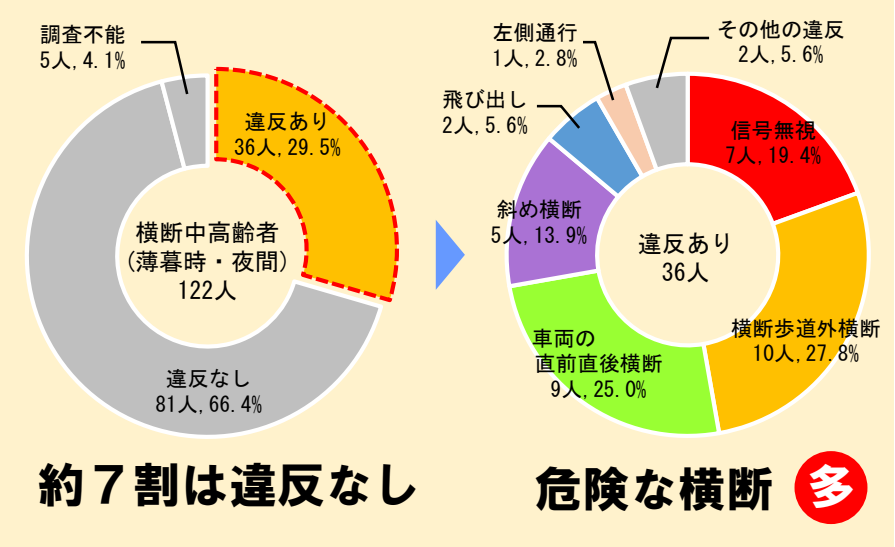


交差点 多

右折車、直進車との衝突 多

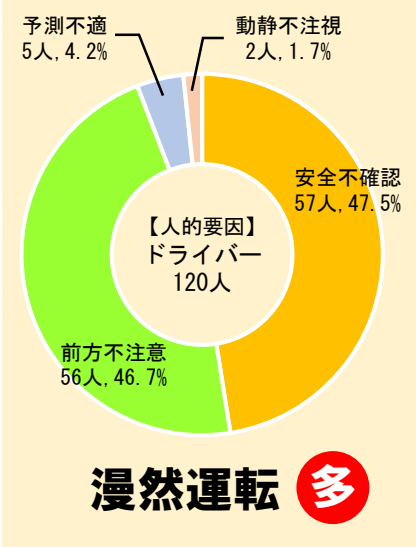


横断後半 多



約７割は違反なし

危険な横断 多



漫然運転 多

事故防止のポイント

高齢歩行者

- 薄暮時・夜間の外出は控える
- 横断中も左側からの車両には特に注意
- 横断歩道利用時も通行車両に注意
- 明るい服装と反射材の着用

ドライバー

- 薄暮時は早めにライト点灯を点灯
- ハイビーム・ロービームのこまめな切替
- 危険予測（歩行者が渡るかも）の徹底
- 速度を控える